

神社神職、巫女、伶人による音楽ユニット「天地雅楽（てんちがらく）」
結成10周年で今夏パリ開催のJAPAN EXPO 2013に出演が決定、CD発売も
～JAPAN EXPO開会セレモニーと日本文化パビリオンでの神式祭儀（御祓い）も担当～

若い神社神職、巫女、伶人（雅楽奏者）が神社奉職をしながら活動を続けるインディーズ音楽ユニット「天地雅楽」が、今年8月に結成10周年を迎えるのに先立ち、7月4日～7月7日にフランス（パリ・ノール・ヴィルパント展示会会場）で開催される「第14回 JAPAN EXPO 2013」への出演が決定しました。JAPAN EXPOの開催セレモニー、および日本文化パビリオン「WabiSabi」での神式祭儀を担当する他、各会場でのコンサート活動もおこなうなど、会期全日程に参加します。

JAPAN EXPOは1999年よりフランスで始まったヨーロッパ最大の日本文化とエンターテイメントの祭典で、2012年は名誉ゲストとして浦沢直樹氏（マンガ部門）、美樹本晴彦氏（アニメ部門）、きゃりーぱみゅぱみゅ（ファッショントン部門）等が招かれ、4日間で21万9614人を動員。今年も同じく4日間の開催ながら23万人を超える入場者数を目指しています。

JAPAN EXPOにより日本のマンガ、アニメ、ファッショントンがヨーロッパでの拡がりを見せた中、今回は「日本ブームから眞の文化愛好へ」をテーマとした新プロジェクト「Japan Moment（後援：国土交通省観光庁、在フランス日本国大使館、国際交流基金）」が発足。雅楽や茶道、武士文化など日本古来からの伝統文化の本物を、多くの来場者へ発信してゆく事となっています。

天地雅楽はJAPAN EXPO出演後の9月9日、初のベストセレクションアルバムCD「玉響（たまゆら）」を発売予定。関西を中心に神社やイベントホールで行われるコンサートツアーも約15ヶ所で行われます。

雅楽と西洋音階・異国楽器を独自の理論で融合させたオリジナル曲を創りだし坂本龍一氏との共演も果たしたこれまでの活動が、JAPAN EXPO 2013への出演依頼へ繋がった形となりました。

*天地雅楽は特定新興宗教との関係はございません



天地雅楽（てんちがらく）

音楽大学卒業後、神社本庁包括の浪速高津宮、服部天神宮に神社神職として奉職する久次米一弥が2003年に結成した音楽ユニット。雅楽をそのまま伝えゆくだけでなく、現代に馴染ませる音楽理論を独自構築。これに基づくオリジナル曲や洋邦楽曲を簞築（ひちりき）・籠笛（りゅうてき）・笙（しょう）の雅楽笛を中心に制作、神社等でコンサート活動を行なってきた。2008年「口ハス・クラシックコンサート」で坂本龍一氏とY.M.O.の名曲「東風」を共演。自主発売CDは6枚、テレビ番組BGMとしてよく使用されるほかCMソングを手掛けた実績も。久次米は國學院大學で神職階位を取得したほか、大阪市認可文化事業団体「浪速高津宮御神楽ノ会」代表も務める。

<Japan Expo 公式サイト（日本語）>
<http://nihongo.japan-expo.com/>

<オフィシャルサイト> <http://tenchigaraku.com>
<Facebook> <https://www.facebook.com/tenchigaraku>

お問い合わせ先

クレマチスヒル・コミュニケーション / 担当：岸本ミナミ
kishimoto@clematishill.com 080-3255-4670

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山333 株式会社エスプロ内